

令和4年度北海道科学技術奨励賞受賞者功績概要

氏名	相川 忠夫（38歳）		
	※ 年齢は令和4年4月1日現在		
所属・職名	北海道循環器病院先進医療研究所 研究員	現住所	札幌市中央区
<p><功績名></p> <p>「心血管病における最先端画像診断装置を用いた非侵襲的定量評価法の開発と臨床応用」</p> <p><功績の内容></p> <p>従来、心血管病の診断や治療効果判定は自覚症状などの定性指標、形態的な冠動脈狭窄度や左室駆出率などの半定量指標、もしくはカテーテルを用いた侵襲的評価により行われてきた。しかし、自覚症状や形態評価に基づく評価法は定量性や再現性が低く、またカテーテルを用いた方法では侵襲性が高いことから繰り返し行いづらいため、いずれの方法も問題があった。</p> <p>氏はこれまで、ポジトロン断層撮像（PET）や核磁気共鳴画像（MRI）の高い定量性を応用し、冠動脈疾患や心不全など様々な心血管病の病態や治療に対する反応を非侵襲的に定量評価する手法の開発に取り組んできた。そして、心筋血流量や心臓交感神経機能、心筋線維化を非侵襲的に定量する手法を確立し、病態の評価や治療効果判定に応用した。これらの手法は国際的なガイドラインにも引用されるなど、世界中から注目を集めている。</p> <p><経歴></p> <p>（略歴）</p> <p>平成21年 3月 旭川医科大学医学部医学科 卒業</p> <p>平成21年 4月 苫小牧市立病院 初期臨床研修医</p> <p>平成22年 4月 北海道大学病院 初期臨床研修医</p> <p>平成23年 4月 市立札幌病院循環器内科 後期研修医</p> <p>平成25年 4月 市立釧路総合病院心臓血管内科 医長</p> <p>平成26年 4月 北海道大学大学院医学研究科博士課程入学 北海道大学病院循環器内科 医員</p> <p>平成29年12月 同博士課程短縮修了（成績優秀のため）</p> <p>平成31年 4月 北海道大学大学院循環病態内科学 特任助教</p> <p>令和元年 9月 米国マウントサイナイ医科大学 博士研究員</p> <p>令和2年 6月 自治医大さいたま医療センター 客員研究員</p> <p>令和2年 9月 北海道循環器病院循環器内科 医師</p> <p>令和3年 3月 北海道循環器病院先進医療研究所 研究員</p> <p>～現在</p> <p>（受賞歴）</p> <p>平成28年 6月 米国核医学会より SNMMI Masahiro Iio, MD Best Abstract Award 受賞</p> <p>平成28年 7月 日本心臓核医学会より YIA 最優秀賞受賞</p> <p>平成31年 3月 日本循環器学会より循環器イメージング賞優秀賞受賞</p> <p>令和元年11月 日本核医学会より YIA 最優秀賞受賞</p> <p>令和3年 1月 日本心血管画像動態学会より YIA 最優秀賞受賞</p> <p>令和4年 6月 日本心臓核医学会より学会賞受賞</p>			